

広報ふたば



【表紙写真】秋の景色の中での交流。。。《双葉町県南双樹会》



令和3年度双葉町表彰式



▲ 後列左から、館下教育長、大浦寿子様、相樂定徳様、中野弘紀様、石上崇様、徳永副町長
前列左から、紺野幸洋様、佐々木清一様、伊澤町長、伊藤議長、栗田要様、渋谷容寿様



▲ 町長式辞

― 永年の功績をたたえて ―
11月3日、いわき事務所において、令和3年度双葉町表彰式が挙行されました。
特別功労表彰として2人の方々と功労表彰として3人の方々に表彰状・記念品と徽章、7人の方々に永年勤続表彰として表彰状と記念品、1団体に感謝状と記念品が贈られました。
式では伊澤史朗町長の式辞に続いて、伊藤雄雄町議会議長、吉田栄光県議会議員代理が祝辞を述べられ、受章者を代表して佐々木清一さんが「平成11年から双葉町議会議員として21年7カ月、うち議長として9年間、主権者である町民の皆さまの代表として常に公正・公平で効率的な行政が行われるよう地方自治の適正な運営と、発展のために職務を遂行させていただきました。これまでの間、永年にわたって町民の負託をいただき、職責を果たすことができ、しかもこのように表彰していただきましたのも、町民の皆さま、議会関係者の方々、さらには町執行部をはじめとする職員の皆さまのご協力があったからこそと深く感謝を申し上げる次第であります」と謝辞を述べられました。
受章者は次のとおりです。

特別功労表彰

◇ 永年にわたり双葉町議会議員として地方自治の発展に尽くされた功績顕著

清川 泰弘様（下条）

議会議員25年

須賀川市在住

◇ 永年にわたり双葉町議会議員として地方自治の発展に尽くされた功績顕著

佐々木 清一様（石熊）

議会議員21年

いわき市在住

功労表彰

◇ 永年にわたり双葉町スポーツ推進委員として社会体育の振興に尽くされた功績顕著

栗田 要様（羽鳥）

スポーツ推進委員33年 いわき市在住

◇ 永年にわたり双葉町スポーツ推進委員として社会体育の振興に尽くされた功績顕著

渋谷 容寿様（細谷）

スポーツ推進委員32年 南相馬市在住

◇ 永年にわたり双葉町消防団員として消防活動に尽くされた功績顕著

紺野 幸洋様（鴻草）

消防団員30年

いわき市在住

永年勤続表彰

◇多年にわたり双葉町スポーツ推進委員として社会体育の振興に寄与

菊池 直子様 (新山)

スポーツ推進委員20年 いわき市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に貢献

大野 義勝様 (鴻草)

消防団員25年 埼玉県加須市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に貢献

中野 弘紀様 (鴻草)

消防団員25年 いわき市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に貢献

愛沢 隆志様 (郡山)

消防団員25年 埼玉県加須市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に貢献

石上 崇様 (新山)

消防団員25年 いわき市在住

◇多年にわたり双葉町職員として地方自治行政の進展に寄与

相樂 定徳様 (郡山)

職員30年 いわき市在住

◇多年にわたり双葉町職員として地方自治行政の進展に寄与

大浦 寿子様 (長塚二)

職員30年 いわき市在住

感謝状

◇災害業務支援のため、多年にわたる職員派遣により本町の復旧・復興に貢献

富山県黒部市

市長 **大野 久芳様**



▲謝辞を述べられる佐々木清一様



▲有功表彰受章者へ贈られた徽章



▲特別功労表彰受章者へ贈られた徽章



町民の皆さまへ

早いもので令和3年の最後の月、師走を迎えました。日ごとに寒さが増し、JR双葉駅前のイチョウもすっかり葉を落しました。

新型コロナウイルス感染症も感染者が減少し、日常が戻りつつあるところですが、引き続き町民の皆さまには感染予防対策の徹底をお願いいたします。

10月26日から11月27日までの期間に県内外11カ所で開催した町政懇談会では、ふるさとへの帰還に向けた準備の宿泊（準備宿泊）について各会場で説明させていただきました。出席いただきました皆さまには心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響のためか、一昨年実施した懇談会より参加者が少ない傾向にありましたが、皆さまからのご意見・ご要望について検討させていただきます。今後の復興まちづくりに反映させていきたいと思います。

11月3日には、いわき事務所において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため規模を縮小して令和3年度双葉町表彰式を挙行了しました。今年度の表彰式では、特別功労表彰として永年にわたり双葉町議会議員として地方自治の発展に尽くされた功績により2人の方に特別功労章と表彰状を、功労表彰として永年にわたりスポーツ推進委員として社会体育の振興に尽くされた2人の方と、永年にわたり消防団員として消防活動に尽くされた1人の方に功労章並びに表彰状をお贈りしました。

さらに、永年勤続表彰として、多年にわたり双葉町スポーツ推進委員として社会体育の振興に寄与された方、消防団員及び双葉町職員として職務に精励された7人の方々に表彰状を贈りました。

また、災害業務支援のため多年にわたる職員派遣により双葉町の復旧・復興に貢献いただいた富山県黒部市様に感謝状をお贈りしました。

町政進展・住民福祉の向上や避難者支援に多大な貢献をされました方々に対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

11月15日には、JR双葉駅東側に建設する役場仮設庁舎の安全祈願祭、起工式を行い、西銘恒三郎復興大臣ほかご来賓の方々の出席のもと工事の安全を祈りました。町内に役場機能を戻すことは、今後帰還を考えている町民の皆さまや新たに定住、移住を考えている方々が安心して住めるという思いを醸成するとともに町の復興を加速させていくものと考えております。

そして令和4年6月以降の特定復興再生拠点区域の避難指示解除と町への帰還を目指して町民の皆さまが安心し、希望の持てる生活環境が整うような課題に全力で取り組んでいく所存です。

結びに、双葉町の復旧・復興のためご支援とご協力をいただきましたすべての皆さまに厚く御礼を申し上げますとともに、町民の皆さまにおかれましては、ご壮健にて新年を迎えられますよう心よりご祈念申し上げます。

双葉町長 伊澤 史朗

復興大臣といわき事務所で意見交換を行いました

10月21日、西銘恒三郎復興大臣と伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長が、双葉町いわき事務所で意見交換を行いました。

伊澤町長から「来年6月以降を目標としている特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除の後、なるべく間を空けずに役場本庁機能も双葉町内に戻ることを目指しており、町の復興に本格的に取り組むことができるようになります。西銘大臣におかれては、今後も現場をご覧いただき、連携を密にして復興に十分な予算の確保と国などからの人的支援の継続・ご助言をいただき、ともに復興に取り組んでいただきたい」と要望し、西銘復興大臣は「関係省庁と連携し、1つ1つ確実に支援していく。要望を受け止めました」と話されました。



双葉町仮設庁舎建設工事

安全祈願祭・起工式 ～町内への役場本庁機能帰還に向けて～

東日本大震災発生と原子力災害により、川俣町、埼玉県加須市を経て現在いわき市に移転している役場本庁機能を町内に戻すため、町では双葉町仮設庁舎建設工事を進めています。

この建設工事の着手にあたり、11月15日に国、県、町の関係者の皆さまにご列席いただき、安全祈願祭と起工式を執り行いました。

工事中の安全を祈る安全祈願祭のあと、起工式では伊澤史朗町長が挨拶を述べ、来賓の方々からご祝辞をいただき、鍬入れを行い起工しました。

建設する仮設庁舎は、J R 双葉駅東側に位置し、軽量鉄骨造地上2階建てで、太陽光発電と蓄電池を備えた防災拠点としての機能をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの採用、仮設庁舎を訪れた方の交流や憩いの場となる「エ



▲主催者挨拶（伊澤史朗町長）



▲鍬入れ



▲工事用の仮囲いパネルに、ふたばふるさとカルタのデザインがプリントされています

ンガワひろば」や「エンガワモール」、「ラウンジ」を設ける予定で、令和4年6月末頃までに整備を完了し、同年8月末頃の業務開始を目標としています。

起工式終了後、伊澤町長は「まだまだ課題が山積する中ですが、ようやく双葉町仮設庁舎が着工を迎え、身の引き締まる思いです。特定復興再生拠点区域の中心となるJ R 双葉駅の東側に立地するというところで、町民の皆さんが集まりやすく交流することのできる場所になってほしいと思います。町民の方には町に職員がいるということに安心していただけるきっかけになれば嬉しいです。町に住む方にとっては最初は全てが万全な状況ではないかもしれませんが、ご意見を頂戴しながら1つ1つ復興への課題を解決していきたいと思っています」と述べました。

来賓祝辞をいただきました

- ・西銘恒三郎復興大臣
- ・石井正弘経済産業副大臣
（内閣府原子力災害
現地対策本部長）
- ・内堀雅雄福島県知事
- ・増子輝彦参議院議員
- ・伊藤哲雄町議会議長



完成予想
パース図



原子力損害賠償紛争審査会による現地視察が行われました

11月1日、原子力損害賠償紛争審査会の内田貴会長と樫見由美子会長代理を含む委員8人による双葉町内の現地視察が行われました。

内田会長らは、鴻草行政区内を訪れ、震災から手付かずのまま残っている被災した住宅等を視察しました。

また、産業交流センターに移動し、伊澤町長、

伊藤町議会議長から内田会長へ要望書^{しゅこう}を手交しました。

その後の意見交換会では、中間指針の見直し、継続している損害への賠償及び審査会への被害者側の出席について、強く要望しました。

※鴻草行政区内の現地視察は、立入許可を得て行われました。



町内視察が行われました

復興推進委員会 10月25日

国が行う東日本大震災からの復興事業について調査・審議し、政府に対して提言を行う復興推進委員会の委員6人が特定復興再生拠点区域外の帰還困難区域やJR双葉駅西側地区などを視察しました。



JR双葉駅西側地区

ふたばファンクラブまちあるきツアー

10月23日、まちづくり会社「一般社団法人ふたばプロジェクト」主催のふたばファンクラブ会員限定まちあるきツアーが開催されました。

15人の参加者は秋晴れの中、ふたばプロジェクトのスタッフの案内でJR双葉駅周辺を散策し双葉町の秋の景色を楽しみました。

▶ふたばファンクラブ会員申し込みはこちらから
(タブレット、スマートフォン用QRコード)



12月10日午後4時50分から、JR双葉駅周辺のライトアップを行います。

詳しくは今月号に同封のチラシをご覧ください。

【問い合わせ先】

一般社団法人 ふたばプロジェクト

☎ 0246-84-9040



中野地区復興産業拠点への立地協定を締結しました ～ 双葉グリーン土木株式会社 ～

10月8日、双葉グリーン土木株式会社と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結いたしました。今回の協定により中野地区復興産業拠点内に新たに事業所が設置されます。緑化工事などで町の復興事業にお力添えをいただくことで、さらなる復興・復旧の加速が期待されます。

今回の立地協定により中野地区復興産業拠点立地協定締結企業は20件となりました。



双葉グリーン土木株式会社

- 本店所在地 …… 福島県双葉郡浪江町大字牛渡字竹の花52番地
- 代表者 … 代表取締役 室原 泰仁
- 主な事業内容 … 緑化工事や公共施設等の緑地維持管理業務

よい仕事おこしフェア実行委員会と 包括連携協定を締結しました

10月28日、双葉町産業交流センターにおいて、よい仕事おこしフェア実行委員会と包括連携協定を締結しました。

よい仕事おこしフェア実行委員会は、全国の信用金庫のネットワークを生かして、地域経済の活性化や地方創生を推進し、日本を明るく元気にする取組に資することを目的としており、メディアや大学、中小企業など10,000社以上の加入者のネットワークにより双葉町の復興情報や名産品情報などが全国に拡散されるなどの効果が期待されます。

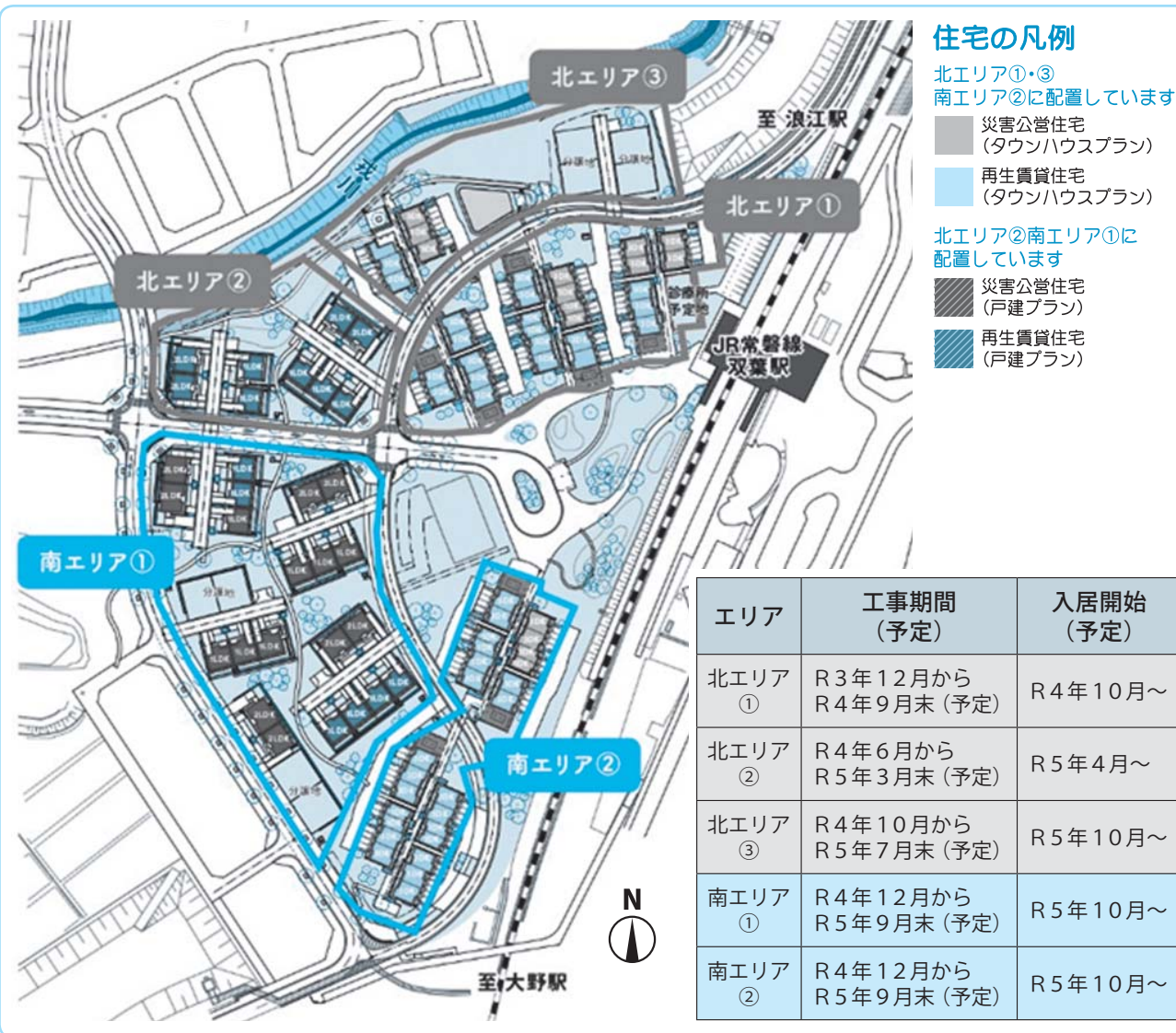
伊澤史朗町長は「復興応援ツアーなどの取組により町に活気が溢れることを期待したい」と述べ、実行委員会事務局の太田福裕あぶくま信用金庫理事長と川本恭治城南信用金庫理事長は「地場産品などを全国のネットワークを使いPRして、各地に双葉町の今を発信していきたい」と述べられました。



公営住宅は来年10月から順次入居を開始する予定です

JR 双葉駅の西側地区では公営住宅の整備が進んでおり、今月から住宅の建設工事がスタートしています。

これにより公営住宅の入居時期が決まり、最も早い住宅で、来年10月から入居が可能となる予定です。住宅は段階的に整備されるため、予定の86戸すべてが完成するのは令和5年9月末ごろの予定です。



工事の進捗や最新情報は

検索 で更新しています。
パソコン、タブレット、スマートフォンで
検索してください。

双葉駅西側地区
まちづくりプロジェクト
<https://restart-futaba.com/>

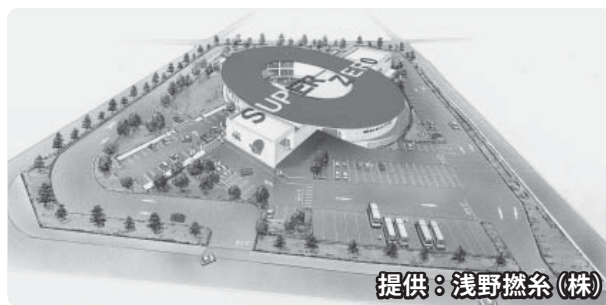


浅野燃糸株式会社 福島工場新築工事・地鎮祭

～ 双葉ブランドのタオル工場 ～

11月1日、中野地区復興産業拠点において町と共同開発したタオル「ダキシメテフタバ」などを製造する浅野燃糸株式会社福島工場の地鎮祭が行われ、伊澤史朗町長と伊藤哲雄町議会議長が出席しました。

伊澤町長から「双葉町の特産品となるようなタオルの製造を期待している。工場が完成し町外に避難する町民の皆さんに今の双葉町を知ってもらえるきっかけになれば嬉しい」とお祝いのことを述べ、浅野燃糸株式会社の浅野雅己代表取締役社長は「工場のほかにもショップや休憩所などを併設し観光バスの誘致などを行いたい。この地から世界に向けて双葉町を発信できるような拠点としたい」と挨拶されました。



提供：浅野燃糸(株)

双葉郡内唯一の自動車学校の再開

東日本大震災と原子力災害の影響により休校していた「ふたば自動車学校」が11月1日から再開、11月12日に業務再開式が執り行われました。また、業務再開式に先立って改修したドライビングコースや新調したシミュレーション機器などの内覧会も行われました。



受賞報告 ～ 内閣総理大臣表彰 ～

双葉町、浪江町、葛尾村で構成する浪江地区防犯団体連合会防犯指導隊が令和3年度安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰を受賞され、10月29日、双葉町いわき事務所で伊澤史朗町長に受賞報告を行いました。

▶ 左から防犯指導隊副隊長の波多野秀行さん（長塚一）、浪江地区防犯団体連合会鈴木正典代表、伊澤町長



～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

令和3年も、いよいよ師走を迎えて総まとめの時期となりました。今年も、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、各種行事の内容変更や延期及び中止せざるを得ない状況が続く、学校現場はもちろん、生涯学習・社会教育関係団体の皆さまも、当たり前のことが当たり前にできない現実、そのストレスの積み重ねによる精神的ダメージが重くのしかかっている状況ではないかとお察し申し上げます。これは、子どもたちも大人も同様の感覚ではないのかなと思います。若干の感染者数減少が、基本的対策とワクチン接種の効用かと思いますが安心はできません。「リバウンド防止対策」として、学校現場でも、さらに感染防止対策の取組を強化しているところですので、ご家庭におかれましても、十分話し合いをしながら、感染防止対策に取り組んでいただきたいと思います。そして、家族の中で思いやりのある人と人との接し方の大切さを話し合い、心豊かな成長をお互いに積み上げることができれば素晴らしいと思っております。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故による全町避難から、丸10年が経過し、双葉町の復興・創生が一步一步進む中「まちづくり計画」の中に、夢と希望のある「学び」へ、生涯学習はもちろん学校教育をどのように位置付けていくか、『文教の町、双葉町』を継承しつつ、町の将来を担う子どもたちをどのように育てていくか。「町づくりは、人づくり」の理念を基盤としつつ、丁寧に議論を進めてまいりたいと思います。

第33回市町村対抗県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）出場を棄権

広報ふたば等で出場をお知らせしておりましたが、今年度のふくしま駅伝出場を双葉町チームは棄権いたしました。大変残念ではありましたが、昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大のため、選手の皆さんが思うような練習ができないことと、全区间の中で選手の確保に調整がつかずエントリーできませんでした。吉田部長をはじめ白土監督にはご尽力いただきありがとうございました。次回開催の第34回ふくしま駅伝には参加できるよう準備を進めてまいりたいと思います。

令和3年度（第8回）「双葉郡ふるさと創造学サミット」開催のお知らせ

来る12月4日、双葉郡8町村の小学生、中学生、そしてふたば未来学園中・高校、富岡支援学校のみなさんと、次に掲げるようなスローガンを重視して開催されます。次回には、発表の様子をお知らせしたいと思います。（昨年度に引き続き、コロナ禍により、オンラインでの開催）

【サミットスローガン】

～ 伝えあい、つながって、広がる ふるさとふたばの学び～
町村や校種を越えて学びあい、多様な見方・考え方にふれることで視野を広げる

【プログラムの考え方】

- ☆双葉郡8町村の小中高が一堂に会するサミットだからこそのできる学びあいの場。多様な意見に触れ、多様な見方・考え方を自分の中に築いていけるようにする
- ☆子どもたちが楽しんで「学びあい」（＝聴きあい、感じあい、伝えあい、話しあい）できるよう、時間の使い方や空間づくりを工夫する
- ☆自分の思いや考え、メッセージを周囲に伝えることの大切さや、伝えたことで自分自身のなにかが変わることに気付く

双葉町立・幼・小・中学校 合同文化祭

手を取り合い、届けよう双葉の想い
～ Our thoughts will save Futaba ～

梅檀祭

10月23日、町立学校体育館において幼稚園・小学校・中学校合同の文化祭「梅檀祭」が開催されました。

幼稚園児は、悪い魔王が住みついていた大好きなキラキラ公園を取り戻すため、果敢に魔王に立ち向かっていく劇を演じ、観覧席の保護者の皆さんは子どもたちが作ったお手製うちわを掲げ、園児たちを応援し、園児たちは無事にキラキラ公園を取り戻すことができました。

小学生下学年は、わがままなかばちやが周りを気にせずつるを伸ばし続け、忠告を受けても気にせずつるを伸ばした結果、大ケガをして反省する内容の劇をタンバリンやマラカスなどの楽器の演奏と歌を交えて演じました。上学年は、取り壊しが決まった「四葉小学校」で、「九十九神」となって学校を守っている銅像や机やイスが、学校に忍びこんだ子どもたちに遭遇するドタバタ劇を演じました。

小学4年生から中学3年生までが参加した標葉せんだん太鼓の演奏では、ご指導いただいた標葉せんだん太鼓保存会の2人の先生が見守る中、練習の成果を発揮し、息の合った迫力ある演奏を披露しました。

中学生は全学年が力を合わせて開校8年目となる自分たちの母校、町立学校仮設校舎を記録に残すための研究について発表を行いました。先生にインタビューする様子や、ジオラマ制作の過程など普段の研究の姿を動画（双葉町復興支援員制作協力）で保護者の方々に観ていただきました。



▲ 標葉せんだん太鼓発表

た。最後に全学年6人で自分たちの名前から1文字とったグループ名「MR. K I S H (ミスターキッシュ)」として「かつこう」「エーデルワイス」「歓喜の歌」の3曲を箏で演奏しました。

新型コロナウイルス感染症対策で、昨年に引き続き保護者の方にも入れ替わりや距離の保持、声援の自粛などにご協力いただいた今年の梅檀祭。制限のある中でも児童・生徒は工夫を凝らし、普段の努力を实らせた発表を行っていました。

幼稚園児の発表

▲ なかよしパワーでやっつけろ！
～魔王なんかに負けないぞ～

▲ 戦う園児をうちわで応援しました！

小学生（下学年）の発表



▲ 音楽劇「かぼちゃのつる」

中学生の発表



▲ 仮設校舎の記録を残し、未来へ伝えよう



小学生（上学年）の発表



▲ 劇「九十九の学校」

第22回 福島県市町村対抗ゴルフ大会

10月28日、いわき市のJGMサラブレッドゴルフクラブにおいて、福島県ゴルフ連盟主催で第22回福島県市町村対抗ゴルフ大会が開催され、双葉町チームが参加しました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、双葉町チームの大会出場は震災後5回目でプレー結果は、18市町村30チーム中、25位という成績を収めました。

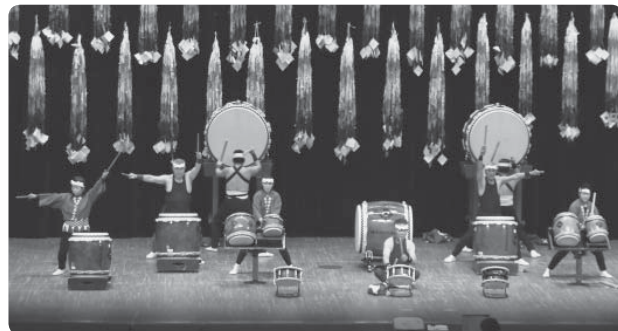


みんな笑顔で人権ふれあいまつり

～加須市・標葉せんだん太鼓保存会が出演～

11月13日、友好都市である埼玉県加須市の加須文化・学習センターパストラルかぞで開催された「みんな笑顔で人権ふれあいまつり」のオープニングで、標葉せんだん太鼓保存会の皆さんが迫力の演奏を披露しました。

ふる里・双葉の「音」を守るという思いを胸に全身全霊で太鼓を打ち続けると話されていた出演者の皆さんの演奏は、多くの観客の視線を引き付けていました。



町内でビオラの植栽が行われました

相馬農業高校・ふたば未来学園の生徒と一緒に

10月28日、NPO法人ハッピーロードネット（西本由美子理事長）の呼びかけで、町内の復興関連事業などにあたる企業の職員や町職員とともに、相馬農業高校とふたば未来学園高校の生徒が、ビオラの苗約4,000株を双葉厚生病院入口交差点と双葉ふれあい広場の2カ所に植栽しました。



2021 標葉祭り

11月6日、浪江町の道の駅なみえにおいて一般社団法人浪江青年会議所の主催で震災後2回目となる標葉祭りが開催されました。

会場には旧標葉郡（双葉、浪江、大熊町、葛尾村）の名産品を取り扱うブースや各町村を紹介するブースが立ち並びました。

標葉せんだん太鼓保存会の皆さんの力強い演奏や、双葉町商工会と夢ふたば人の皆さんによる双葉町ダルマ市名物の巨大ダルマ引きも行われ、訪れた多くの来場者は真剣に綱を引き合っていました。



双葉町ダルマ市開催のお知らせ

新春恒例！

今年も、双葉町民有志「夢ふたば人」の主催により「双葉町ダルマ市」が開催されます。

■日 時：令和4年1月8日（土）・9日（日） 9:00～
■場 所：復興公営住宅勿来酒井団地 敷地内

会場の駐車スペースに限りがあります。

相乗りや観光協会申込の見学バスのご利用にご協力ください。

（観光協会見学バスのチラシは今月号に同封しています）



プログラム

8日（土） 9:00～16:00

時 間	内 容
8:30～	相馬妙見宮初發神社 高倉洋尚宮司による祈祷
	奉納神楽（三字芸能保存会）
9:00～	開会式
9:30～	子供樽神輿
11:00～	LOVE FOR NIPPON STAGE
13:00～	巨大ダルマ引き
13:30～	Noby トランペットオフィス

9日（日） 9:00～15:30

時 間	内 容
9:40～	民俗芸能発表会
10:30～	第31回双葉町芸能発表会
12:00～	消防団ダルマ神輿
12:30～	大道芸人・羽舞（1回目）
13:30～	ロボットのぞみ
14:00～	大道芸人・羽舞（2回目）
15:00～	閉会式

【問い合わせ先】復興推進課 商工労政係 ☎ 0246-84-5203

◆令和3年度双葉町民俗芸能発表会◆

主催 双葉町教育委員会

時 間	芸 能 名	団 体 名
9:40	あいさつ	
9:45	神楽	新山芸能保存会
10:05	前沢女宝財踊り	前沢女宝財踊り保存会
10:15	相馬流れ山踊り	双葉町相馬流れ山踊り保存会

◆第31回 双葉町芸能発表会◆

主催 双葉町芸術文化団体連絡協議会

時 間	演 目	団 体 名
10:30	開 会	
10:35	いなすま、夏	標葉せんだん太鼓保存会
10:50	双葉町民の歌、大切なふるさと、大切なもの	コーラスふたば
11:05	秋田大黒舞、相馬胴突唄	双葉町民謡同好会
11:20	北の国から、高原列車は行く、珍島物語	J Aスマイル大正琴
11:35	ふたば音頭	
11:45	閉 会	

※時間は目安です

【問い合わせ先】双葉町教育委員会 教育総務課 生涯学習係 ☎ 0246-84-5210

年金事務所からのお知らせ
社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が発行されています！

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において、全額が社会保険料控除額の対象となります。

控除の対象となるのは、令和３年１月１日から令和３年９月３０日までに収められた保険料（令和３年１２月３１日までの納付見込分を含む）です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

また、ご自身の保険料だけでなく、ご家族の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

10月下旬から11月上旬にかけて、日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されていますので、年末調整や確定申告の際に必ずこの証明書または領収書を添付してください。

国民年金は、老後はもちろん不慮の事故などの万一のときにも心強い味方となる制度です。保険料は未納のないよう納めましょう。

【問い合わせ先】

ねんきん加入者ダイアル

☎ 0570-003-004

●自動音声でご案内します。

050から始まる電話でおかけになる場合は、☎03-6630-2525へおかけください。

【受付時間】

・月～金曜日

(午前8時30分～午後7時)

• 第2土曜日

(午前9時30分～午後4時)

※祝日（第2土曜日を除く）、12月29日～
1月3日はご利用いただけません。

～ 年末調整・確定申告まで大切に保管してください～

公立双葉准看護学院 令和4年度学生募集

公立双葉准看護学院では、一般入学試験を実施します。

地域に寄り添う看護のプロを目指しましょう!!

◇募集人員：30名

◇修業年限：2年（全日制）

◇受験料：1万円

◇受験資格：中学校卒業以上の者
(令和4年3月卒業見込を含む・年齢不問)

◇出願期間：

令和4年1月5日(水)～1月26日(水) 必着
午前9時～午後4時30分まで
(土・日・祝祭日を除く)

◇試験日：令和4年2月1日(火)

◇試験科目：筆記試験（国語）、作文、面接

【出願・問い合わせ先】

公立双葉准看護学院 〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-76

☎ 0244-32-0990 E-mail : futajyun-kango@aioros.ocn.ne.jp

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

●建物解体申請の締め切りについて

双葉町の特定復興再生拠点区域の建物解体の申請受付を以下の期間まで受け付けています。申請書類をそろえるのに時間を要する場合があるため、解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にお早めにご相談下さい。

【解体申請受付期間】

特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される日から概ね1年後となります。双葉町では令和4年6月以降の避難指示解除を目標としていますが、具体的な申請受付の締切日は、今後特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される日が決定されてから改めてお知らせします。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（環境省業務受託業者）

＜場 所＞ 双葉町いわき事務所1階（いわき市東田町2丁目19-4）
 ＜受付時間＞ 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び12月29日～1月3日を除く）
 ＜連絡先＞ ☎0120-773-275（フリーダイヤル）

片付けごみについて

●片付けごみの個別回収について

双葉町の特定復興再生拠点区域内における家屋について、家屋の片付けによって生じた片付けごみの回収を行っております。

【片付けごみ回収申込先】 双葉町片付けごみサポートセンター

＜受付時間＞ 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝日及び12月29日～1月3日を除く）
 （※FAXによる受付は24時間行っております。）
 ＜連絡先＞ 有限会社佐洋運輸（令和3年度環境省業務受託業者）
 ☎0120-115-261（フリーダイヤル） FAX:0120-115-271

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇中間貯蔵施設見学会について

- ▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。12月は、10日（金）、18日（土）を予定しています。
- 見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎0240-25-8377）までお願いします。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇輸送について

- 双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。
- ・2021年度は、520,880㎡搬入しています。（2015年からの累計は3,499,362㎡） ※11月8日（月）現在
- ▶ 12月25日（土）～1月4日（火）は輸送を休止いたします。

◇放射線モニタリングについて

- ▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- ▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎024-563-1293

消防署からのお知らせ

年末の大掃除に合わせて自宅の安全対策をしましょう！

年末に近づき自宅の大掃除を考えている方が多いかと思います。普段は動かさない家具・家電を動かす大掃除の機会に室内の安全対策も併せて行いましょう！

住宅用火災警報器の維持管理

- ① ひもを引くか、ボタンを押すかで作動確認ができます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
- ② ほこり等がつくと感知しにくくなるため定期的に乾いた布で拭き取りましょう。
- ③ 古くなると電子部分の劣化や電池切れなどで感知しにくくなります。
設置して10年を目安に本体の交換を検討しましょう。



家具類の転倒・落下防止対策

- ① 家具類は壁に固定しましょう！
- ② 出入口の通路周辺や寝室には転倒、移動しやすい家具類を置かない。
- ③ 棚などの家具に収納する場合は、重い物は下に収納し重心を低くして倒れにくくしましょう。



ストーブ火災の予防対策

- ① ストーブの周囲は常に整理整頓し燃えるものを近づけない。
- ② カーテンの近くにストーブは置かない。
- ③ 近くでスプレーを使用したり、スプレー缶を放置しない。
- ④ ストーブを洗濯物の乾燥に使用しない。
- ⑤ 給油時はストーブの電源を切る。
- ⑥ 就寝時や外出時は必ず電源を切る。



火事と救急は119番 <消防署連絡先> ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
・富岡消防署 ☎0240-22-2119

双葉町社会福祉協議会

～ 12月 健康運動教室・サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2 階第 6 会議室 (郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1)	① 第 1、3 木曜日 ② 第 2、4 水曜日 ③ 第 2、4 木曜日 のいずれか	13:30～15:00	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
福島市老人福祉センター 2 階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原 3)	12月21日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所 1 階会議室 (南相馬市原町区青葉町 2-62-2)	毎週水曜日 ※12/29を除く	① 9:30～11:00 ② 13:30～15:00 のどちらか	南相馬出張所 ☎ 080-5730-1166

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ



【求職者向け】行くしかない!! 就職面接会 in 双葉

【予約優先制・参加無料・履歴書不要】

実は面接会が就職への近道♪求人票には載っていない魅力が聞ける!

★応募書類キットのプレゼント ★証明写真の無料撮影券プレゼントあり

●日 時… 12月16日(木) 13:30～15:00

●会 場… 双葉町産業交流センター
(双葉郡双葉町大字中野字高田1番地1)

●参加企業… 10社予定(企業の詳細はホームページをご覧ください)

●定 員… 30名

●予約受付… 12月9日(木)まで(電話またはホームページから先着順となります)



※新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、開催いたします。詳細はホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】 ホームページ で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号 みんなビル202号)



◇◇ テクノセミナー(講習会事業)のお知らせ ◇◇

県立テクノアカデミー浜では、地域の皆さまに役立つ短期間の講習を実施しております。スキルアップにご活用ください。(詳細については、お問い合わせください)

(受験対策コース) 乙4類危険物取扱者②

実施期間: 令和4年1月11日(火)～
1月25日(火)
(月火木曜日の7日間)

実施時間: 18時30分～20時30分

申込締切: 12月21日(火)

定員: 10人

費用: 5,300円

費用内訳 <受講料> 3,500円
<テキスト代> 1,800円

パソコン表計算の応用【Excel2013の活用】

実施期間: 令和4年1月13日(木)～
1月27日(木)
(月火木曜日の5日間)

実施時間: 18時30分～20時30分

申込締切: 12月21日(火)

定員: 10人

費用: 7,100円

費用内訳 <受講料> 4,900円
<テキスト代> 2,200円

・実施場所: 県立テクノアカデミー浜(南相馬市原町区萱浜字巣掛場45-112)

・対象者: 在職者等

・定員になり次第締め切る場合がございます。

※コースの詳細や上記以外のコースは本校ホームページ(<https://tc-hama.ac.jp/>)でご確認いただけます。

【問い合わせ先】 テクノアカデミー浜(セミナー担当) ☎ 0244-26-1555 FAX 0244-26-1550



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

2022年は一人暮らし社会が本格化する 京都に避難中 菅本 洋（浜野）

人口減少なのに世帯数は増える。

わが国では人口が減少しているのに、世帯数は増えている、団塊世代1947年生まれが75歳となるのは2022年なのだ（2015年国勢調査）。こうした流れは今後どんどん加速してゆく。そして1人暮らしが増えると考えられる、要因は大きく3つある。

1. 子どもと同居しない高齢者が増大したことだ。高齢者女性の5人に1人、男性7人に1人となり一人暮らし世帯を増やしている。
2035年には高齢者夫婦のみの世帯となりうる、日本の世帯数の将来推計によれば男性70歳は2010年では36万世帯だったが2035年には59万世帯となる。75歳から79歳は28万世帯から43万世帯に拡大する。
2. 一人暮らし世帯を増やしている要因は未婚者の増加である。50歳で一度も結婚したことのない人の割合を示す生涯未婚率は、2015年には男性23.37パーセント、女性14.06パーセントだ。
3. 家族の消滅の危機、たとえ結婚しても、長続きするとはかぎらない。離婚の増大しているのが現状。子どもと同居しない高齢者の増大、高齢者の増加、離婚の増加、困ったものだ。
未婚や離婚の拡大が止まらない以上、一人暮らしが避けられない。それに今後深刻なのが社会保障制度である。政府は地域包括ケアシステムを充実させ、住み慣れた地域で最期のときを迎えられるよう、地域の協力を得ている、だが病院や介護施設から在宅医療、在宅介護へとシフトしようにも、現実問題として家族の支えなしには移行できない。地域住民はこれからどうしたら良いか考えよう。

人のうごき10月分 敬称略

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
愛澤 正江	106	9月29日	羽 鳥
大塚公太郎	88	9月30日	長塚一
江尻 クミ	102	10月 9日	長塚一
瀧澤 秀夫	81	10月20日	下長塚
横山ひろ子	69	10月26日	石 熊

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0246-84-5202

双葉町民の避難状況（令和3年10月31日現在）

- ・福島県内に避難されている方 3,992人
- ・福島県外に避難されている方 2,730人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

【文芸】

俳句・柿の実が 色よく熟れて 天高し
何事も なかったような 冷豆腐
短歌・天高く ぽっかり浮ぶ 白い雲
乗って行きたい あゝ古里へ
里謡・田んぼの案山子 お役目終へて
又来年と 冬眠す
もみじのお手て つないだ曾孫
早七五三 千歳飴
今泉 禮子（長塚二）

広報紙の発送について

「広報ふたば」「ふたばのわ」は、1居所につき1部送付しています。ご家族が別々の場所に引っ越された場合や、同居することになった場合など、広報紙の発送に関することは下記までご連絡ください。

なお、「広報ふたば」「ふたばのわ」の発送先となっている方がお亡くなりになられた場合については、1カ月程度後に発送を中止いたしますが、ご家族の方に発送先を変更することも可能です。下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0246-84-5202

避難先を移動された方へ

避難先を移動された方は「避難住民届」を提出してください。

※移動先の届出がないと、町からの広報紙、各種通知などの郵便物が届かなくなりますのでご注意ください。

【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎0246-84-5204

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第102号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202



たしろ しげお
田代 重夫 さん
きよこ
清子 さん
(長塚一)



●避難先●
茨城県阿見町

結婚の節目は「気付かされるもの」

結婚してからしばらくの間は、年齢的に若かったこともあって、仕事、子育てなど日々の生活に精一杯で、結婚記念日だから特別にどうこうということもありませんでした。しかし、子どもが少しずつ世の中が分かる年齢になり、私たちが結婚した日を聞かれ、まるで誕生日のお祝いのようなことをしてくれて「もう、結婚後何年経ったのか」と気付かされるようでした。

受難の年となった「ルビー婚式」

震災に遭ったときは、夫婦とも60歳代後半でしたが、体が元気なこともあり、私はヘルスケアーふたばで利用者送迎の仕事に就いていました。そのため、地震発生直後から食料や物資の調達、原発事故による避難では、施設利用者など高齢者の町外移動や、避難所では、妻とともにそうしたお年寄りの世話にあたりました。

当時、「ルビー婚式」と呼ばれる結婚40周年を迎えていましたが、その呼び名とは対照的に、輝きどころか先の見えない日々のスタートとなりました。

落ち着ける場所との巡り合い

避難所生活を経てつくば市の公務員住宅に移りました。一般的な集合住宅とは違い、庭があつて小さな家庭菜園ができる程度に

土いじりができたり、同じ避難者同士や近隣に住む住民の方々とお付き合いもできるなど、精神的に癒される環境でしたが、子どもや孫を呼べ、夫婦で落ち着けるところがなかったと思うようになり、自宅を購入しました。

平成25年秋からこちらで生活しています。周辺に自衛隊基地や大手メーカー事業所があり、各地から移り住んだ方も多く、近所の皆さんには転入直後から親しくしていただき、隣組の役回りにも加わっています。

避難後を夫婦で乗り越え金婚へ

歳とともに「体のガタ」がくるとはいいますが、避難先での生活に目途が付き一息ついたかと思つた矢先、私が6年前、妻はこの春、それぞれ健診でがんが見つかりました。告知を受けた際、最悪の事態を覚悟しましたが、幸い、早期発見・早期治療により手術を経て日常生活を送っています。

今年4月、50回目の結婚記念日、金婚を迎えましたが、妻の手術と重なり気持ちが落ち着かない時期でした。

長年、夫婦だから一つ屋根の下に居るのが普通と思ってきましたが、未曾有の大災害を経て、大病を患ってから、日頃の家事、そして、入院中や退院後の通院で、互いに役割分担を決めたわけではなく、今では、自然に支え合っているように感じます。

今月号の表紙は、白河市に避難する町民の方々による自治会・双葉町県南双樹会の皆さんが、「ざる菊」の庭園で交流した時の様子です。この庭園は高野芳彦さん（山田）が造園したもので、バスで見に来る方もいらつしやるというお話をお聞きました。

この交流の前日、県南双樹会の皆さんは双葉町でも東日本大震災・原子力災害伝承館の見学などで交流をされていました。双葉町での交流会の様子は、コミュニティ情報紙「ふたばのわ」令和3年12月15日号でお知らせいたします。

編集後記



今月のベストスマイル



11月13日に加須市で開催された「みんな笑顔で人権ふれあいまつり」で横山久勝さん（長塚二・左）と三浦安信さん（長塚一・右）の笑顔です。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○コミュニティセンター連絡所（午前9時～午後4時）
〒979-1471
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22

☎ 0240-23-0051
FAX 0240-23-0052

○南相馬連絡所（午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分）
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2

☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277

○つくば連絡所（月・火・水 午前9時～午後5時）
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟

☎/FAX 029-854-7511

○双葉町公式ホームページ
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○双葉町産業交流センター
公式ホームページ
<https://www.f-bicc.jp/>



○双葉町公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<https://futabanowa.wordpress.com/>

